

ITL デイサービス業務支援導入時マニュアル

---

# ITL デイサービス業務支援システム Version 5 導入時マニュアル

---

第八版  
2008年5月1日

# はじめに

---

## 製品の目的

本製品は、弊社デイサービス業務支援システム導入時マニュアルです。システム導入時には、必ずこのマニュアルをお読み下さい。

## 使用条件

- 1．本製品は、商品をご購入された事業所様に限り、改変・変更を許可いたします。
- 2．本製品および、上記1に基づき改変および変更されたものについて、第三者への配布・転用・無断掲載を禁止します。

## ご使用にあたって

弊社デイサービス業務支援システムおよびMicrosoft Access2000(2002/2003)が必要です。

## お問い合わせ

本マニュアルおよびデイサービス業務支援システムに関する操作のお問い合わせは、FAX(0176-25-4584)、電話(0176-25-4586)もしくは電子メール([info@it-l.co.jp](mailto:info@it-l.co.jp))にてお願いいたします。

# 目次

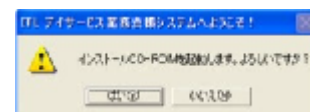
---

1	ディサービス業務支援システムのCD-ROMからのダウンロード .....	2
2	ディサービス業務支援システムの各ファイルの説明 .....	3
3	実行用プログラムとデータテーブルのリンクを設定する .....	4
4	1台のパソコンで使用する場合 .....	4
5	(2)複数のパソコンで使用する場合 .....	6

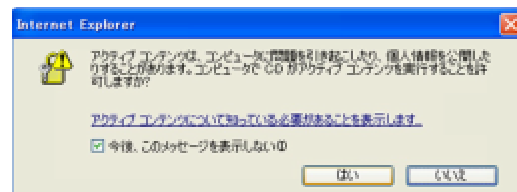
デイサービス業務支援システムをお使いになる上での、導入設定に関する操作法および注意事項です。導入にあたり、必ずお読みになってください。

## 1. デイサービス業務支援システムの CD-ROM からのダウンロード

CD-ROM をパソコンにセットしますと、右図のような窓が画面に表示されますので、[はい]を選択します。



警告表示がされる場合がありますが、ウィルスなど危険なファイルは含まれていませんので、[はい]を選択します。

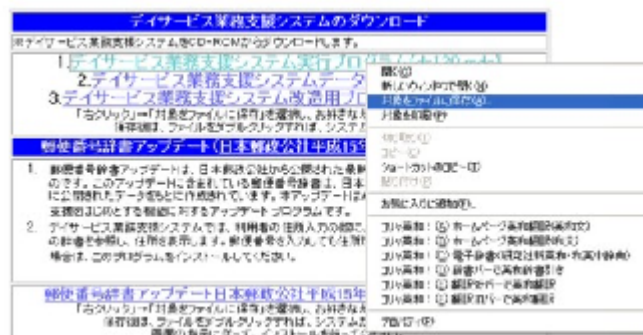


ブラウザ(インターネット・エクスプローラ)が起動し、右図のような画面が表示されます。  
デイサービス業務支援システムのダウンロードをクリックします。



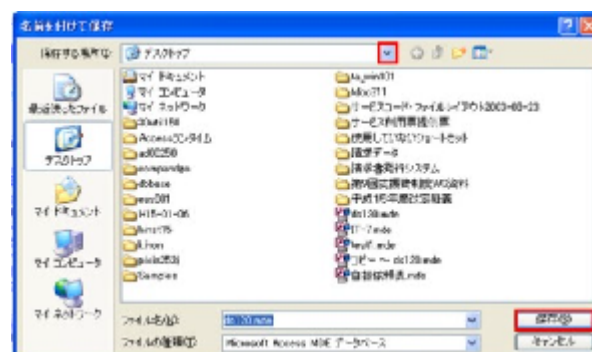
画面が切り替わり、右図のような画面が表示されます。

1. デイサービス業務支援システム実行プログラム(ds\*\*\*.mde)の上で右ボタンを押します。(\*\*\*はバージョンを意味します。例 120 バージョン 1.20)「対象をファイルに保存」を選択します。



ファイルの保存場所を選択します。(ここでは、デスクトップに保存する例で説明します。)

「保存」ボタンを押します。



ダウンロードの終了が表示されたら、「閉じる」ボタンを押します。

2. デイサービス業務支援システムデータ(ds\*\*\*.tbl.mdb)および、3. デイサービス業務支援システム改造用プログラム(ds\*\*\*.mdb)についても同様に  
～ の操作を繰り返します。

ブラウザの右上の×ボタンを押して、ブラウザを閉じます。

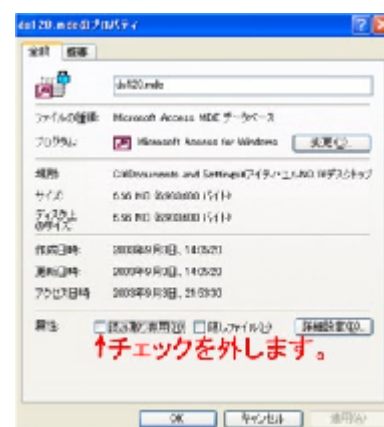
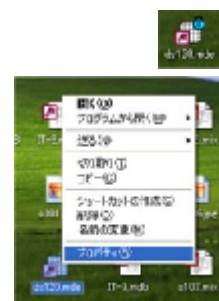
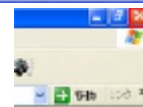
デスクトップ上に上記 3 つのファイルが正しくダウンロードされたことを確認します。

(Windows2000 の場合)

デスクトップ上のそれぞれ 3 つのアイコンの上で右クリック 「プロパティ」を選択します。

読み取り専用のチェックを外します。

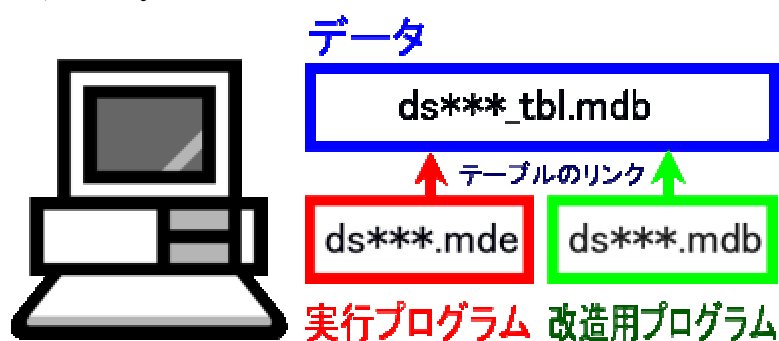
(Windows Xp の場合は、ダウンロードした時点で読み取り専用のチェックは、外れていますので、 の操作は不要です。)



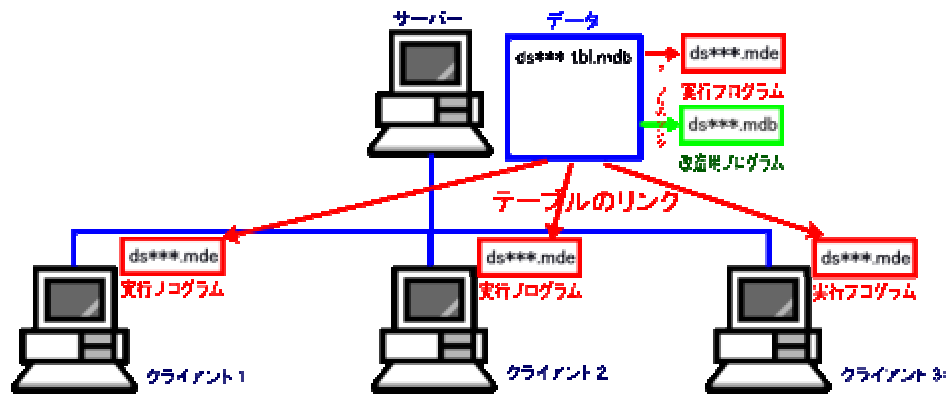
## 2. デイサービス業務支援システムの各ファイルの説明

デイサービス業務支援は、基本的には 2 つのファイルつまり、データを保存するデータテーブルと画面や帳票レイアウトなどを収録した実行プログラムで動作します。

他に Access 標準のファイル形式の ds\*\*\*.mdb は、御事業所で独自に改造したい場合などに使用するマスターファイルです。改造に際しましては、別紙仕様マニュアルをご覧ください。



実行プログラムとデータテーブルは、Access のテーブルのリンク機能でリンクされます。  
 データテーブルを共有することにより、LAN 環境で複数の PC が同一のデータベースを共有することができます



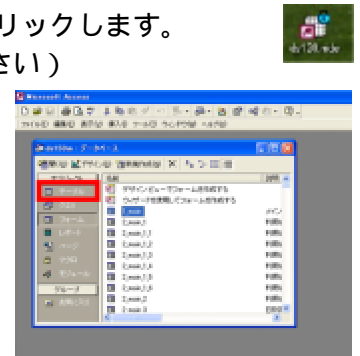
### 3. 実行用プログラムとデータテーブルのリンクを設定する。

(1) 1 台のパソコンで使用する場合 (3 つのファイルがすべてデスクトップにある例)

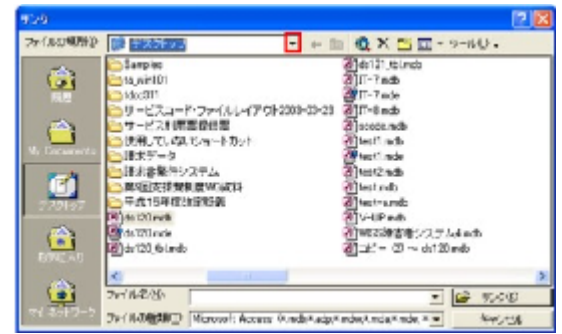
シフトキーを押したままデスクトップ上の ds\*\*\*.mde をダブルクリックします。  
 (システムが完全に起動し終えるまで、シフトキーを離さないで下さい)

Access が立ち上がり、システムが起動します。  
 シフトキーが押されていることにより、プログラムの自動実行機能が停止され、システムを構成しているオブジェクトの一覧が表示されます。  
 画面左のオブジェクトメニューの[テーブル]を押します。

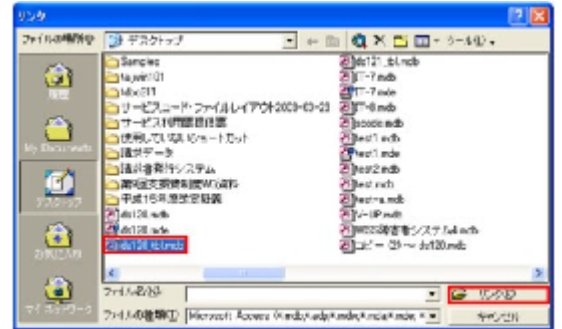
「ファイル」「外部データの取り込み」「テーブルのリンク」を選択します。



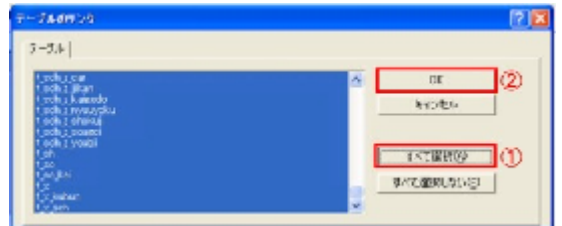
ファイルの場所を選択します。(ここではディスクトップ)



ファイル ( ds\*\*\*\_tbl.mdb ) を選択し、「リンク」ボタンを押します。

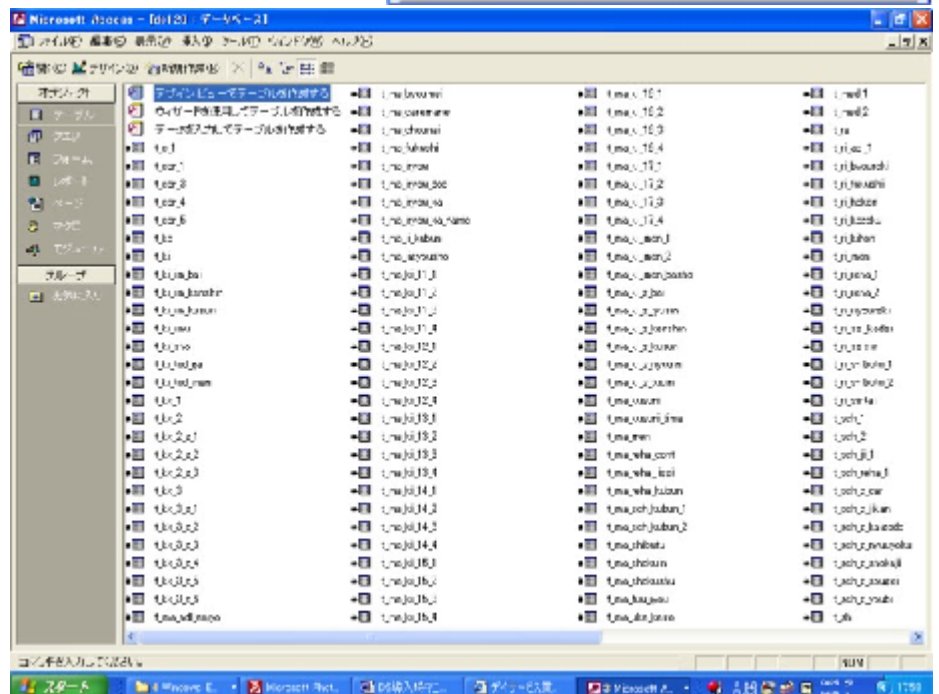


[すべて選択]を選び、[OK]ボタンを押します。

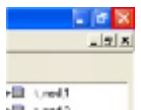


まもなく、テーブルのリンク情報が画面に表示されます。

以上で、プログラムとデータテーブルが接続され、システムを稼働することができます。



画面右上の Access の画面窓 ( 赤色 ) の [x] ボタンを押して、システムを終了させます。



デスクトップ上の ds\*\*\*.mde をダブルクリックしますと、システムが起動します。  
引き続き、デイサービス業務支援操作マニュアルをご覧ください。



御事業所において、今後独自に画面および帳票の変更などをお考えの場合は、上記 ~ の手順で改造用プログラム ds\*\*\*.mdb におきましても、データテーブルとリンクさせておきてください。

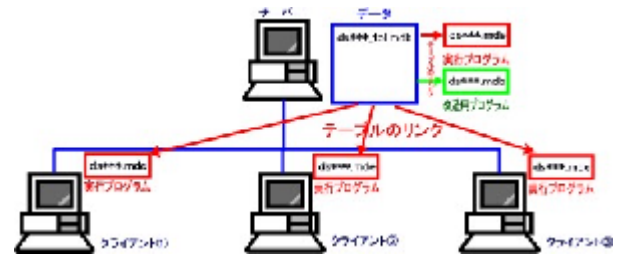


サーバー機(データテーブルが存在する PC)の C ドライブに”DS 業務支援”フォルダを作成し、この中にデータテーブルを置き、このデータテーブルをクライアント(残り 3 台)がリンクする例

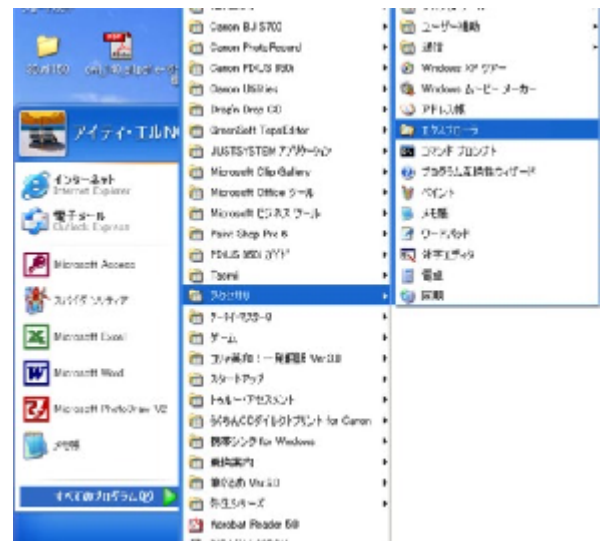
本システムを運用する際、ネットワークには、相当のネットワークトラフィック(情報量)が発生いたします。無線LANのような低速の環境下では、画面表示などに遅延が発生する場合があります。新たにLANを敷設する場合は、有線LANをお勧めいたします。

L A N環境でご使用の場合は、必ず、P C毎にC D-R O Mからプログラムをダウンロードし、P C毎にリンクを張って下さい。

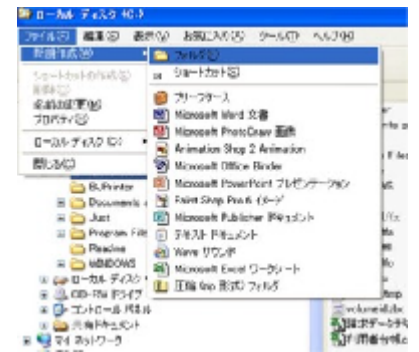
サーバー機（データテーブルが存在する PC）とクライアント機を決めます。クライアントはサーバー機のデータテーブルにつながっていますので、サーバー機は常時電源が入っている必要があります。



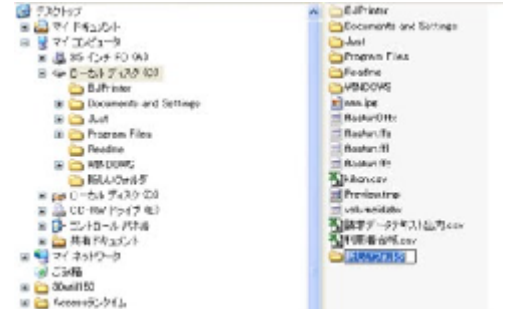
[スタートボタン] [すべてのプログラム] [アクセサリ] [エクスプローラ]を選択します。

[illegible]

「ファイル」「新規作成」「フォルダ」を選択します。



「新しいフォルダ」の名前を[BackSpace]キーを使って削除します。



名前を「DS 業務支援」と打ち込み、最後に[Enter]キーを押します。



「DS 業務支援」の上で右クリック 「共有とセキュリティ」を選びます。



「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」にチェックを入れます。

○共有名が「DS 業務支援」になっていることを確認します。

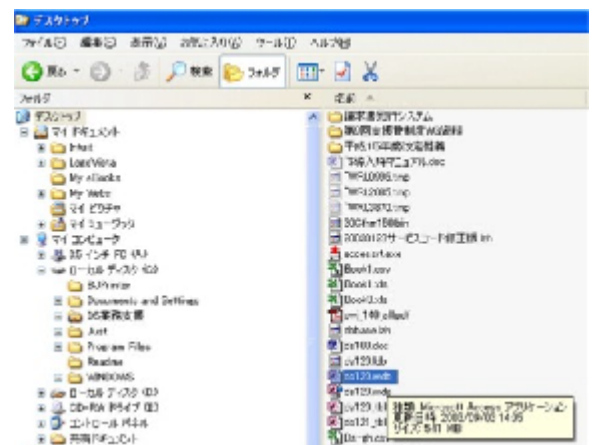
○「ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する」にチェックを入れます。

○[適用]ボタンを押します。

○[OK]ボタンを押します。



エクスプローラで「ディストリップ」を選び、データテーブル(ds\*\*\*\_tbl.mdb)を選択します。




The screenshot shows a Windows File Explorer window. The left sidebar displays the 'Documents and Settings' folder expanded, with 'Documents and Settings\user' selected. The main pane shows the contents of the 'user' folder, including 'All Users', 'Default User', 'Owner', 'Pictures', 'Public', and 'Documents and Settings\user'. The 'Documents and Settings\user' folder is highlighted in blue.



The screenshot shows the Windows XP Start menu. The 'スタート' (Start) button is highlighted with a red box. The Start menu is open, displaying a list of applications and folders. The 'スタート' button is located at the bottom left of the screen.

[illegible]

22 画面右上の Access の画面窓 ( 赤色 ) の [ × ] ボタンを押して、システムを終了させます。



## 2) クライアント機の設定

10

ク同様に、それぞれ、データテーブルとリンクします。リンク先は、マイ・ネットワークまたは、ネットワークコンピュータ上の DS 業務支援フォルダ内とします。



デスクトップ上の ds\*\*\*.mde をダブルクリックしますと、システムが起動します。  
引き続き、デイサービス業務支援システム 操作マニュアルをご覧ください

## **ＩＴＬ デイサー ビス業務支援システム導入時マニュアル**

2006年 5月 11日 発行

発行・制作・著作 有限会社 アイティ・エル

Microsoft、Windows Access2000(2002)は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書および本書で利用するデータファイルの一部または全部を無断で第三者に配布・譲渡・販売することはできません。

Copyright(c)2003 Information Technology Laboratory. All rights reserved.